

資源・エネルギー・環境の諸問題に 微生物機能を利用した 最新の技術動向と未来

資源・エネルギー・環境の諸問題に微生物機能を利用した最新の国内外における技術開発の動向と北海道の将来展望について議論するために、道内外から専門家をお招きして話題を提供していただくと同時に、専門家によるパネルディスカッションおよび専門家とフォーラム参加者との意見交換を行います。

2015年12月11日(金)
14:00～17:40 (開場 13:30)
北海道大学 学術交流会館 2F 講堂

- 参加費：資源・素材学会会員および日本材料学会会員：1,000円、
学生：無料、一般：3,000円
- 懇親会：18:00～20:00 アスペンホテル (懇親会費：4,000円)
(予定)

● プログラム ●

司会：中島 一紀 (北海道大学)

14:00～14:05 開会挨拶 五十嵐 敏文(北海道大学, 資源・素材学会北海道支部長)

14:05～14:15 企画者趣旨説明 川崎 了(北海道大学)

14:15～14:45 「深部地下微生物によるメタン生成プロセスの複雑性と制御因子」
清水 了(幌延地圏環境研究所)

14:45～15:15 「地下深部に自生するCO₂資源化菌の高圧リアクター培養」
大友 陽子(北海道大学)

15:15～15:45 「CCS現場における微生物技術の活用」
中村 孝道(地球環境産業技術研究機構)

15:45～15:55 — 休憩 —

15:55～16:25 「北海道を元気にするバイオガス化事業の環境・経済効果・可能性」
石井 一英(北海道大学)

16:25～16:55 「固体で呼吸する微生物とそのバイオテクノロジー」
加藤 創一郎(産業技術総合研究所)

16:55～17:05 — 休憩 —

17:05～17:35 総合討論 座長 川崎 了(北海道大学)

17:35～17:40 閉会挨拶 広吉 直樹(北海道大学, 資源・素材学会北海道副支部長)

お申し込み方法 E-mailにて、「フォーラム参加申込」と明記し、氏名、勤務先、懇親会参加の有無を記入の上、下記申し込み先までお送りください。なお、当日参加も可能です。

【お申し込み先・お問い合わせ先】

資源・素材学会北海道支部事務局 (sh@eng.hokudai.ac.jp)

主催：(一社) 資源・素材学会 北海道支部

後援：北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門、
(一社) 日本材料学会北海道支部、開発技術研究会、
地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所